安心のネットワーク
NOSAI
下越農業共済組合
まっすぐNOSAI

もえぎ

2011
11月号
Vol.98

写真で巡る「秋の食祭り」……2
NOSAI女性セミナー開催……5

新発田市 / スポーツフェスタ

スポーツの秋。10月2日、新発田市五十公野公園陸上競技場で開催された城下町しばたスポーツフェスタへ行ってきました。開会式の後に行われたちびっ子レースでは、小雨の降る中、子どもたちが元気に走っていました。

写真で巡る「秋の食祭り」

一 国際ご当地グルメグランプリin月岡

9月24日（土）、25日（日）の両日、新発田市月岡のカリオンパークを会場に、「2011国際ご当地グルメグランプリin月岡」が開催され、県内外の料理や中国、韓国などの外国料理が出店され、うまさを競い合いました。

料理を購入すると渡される、投票用のレルヒさんコインを気に入った料理に投票し、コインの数により「伝統部門」「創作部門」「スイーツ部門」の各部門賞とグランプリを決定します。

出店数39店舗で、来場者数は59,000人でした。グランプリは「鯛茶漬け」（柏崎市）で、2位は「アスパラみどりカレー」（新発田市）でした。

入り口は大勢の来場者と呼び込みの人たちで大賑わい。

沢山ののぼりで賑やかでした。

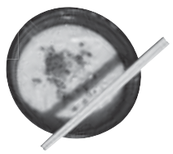
新発田市
「アスパラみどりカレー」
新発田の特産アスパラを使ったカレーです。

胎内市
「米粉べえべえ」
米粉の皮で具材を包んで食べます。

一生懸命料理を作る皆さん。

秋晴れのいい日でした。

容器はECOトレイ


阿賀野市
「白鳥美人」
米粉を使ったうどんです。

天気がいいので外で食べるとおいしい。

どれに投票しようかな…

二 阿賀北ふるさとグルメフェスタ

月岡温泉月姫広場を会場に、国際ご当地グルメグランプリと同時開催した「阿賀北ふるさとグルメフェスタ」は、新発田市、阿賀野市、胎内市、聖籠町のご自慢グルメ&お土産品が集まっていました。

足湯の近くとあって、買い物を終えた人たちが足湯につかってのんびりしていました。

同会場には東日本大震災の被災地、宮城県と福島県からB－1グランプリで有名な「石巻焼きそば」と「なみえ焼きそば」も参加していました。

宮城県
「石巻焼きそば」と
津波に流されなかった昆布

福島県
「なみえ焼きそば」

震災の地のB-1グルメも参加してくれました。
宮城の「石巻焼きそば」（左）と福島の「なみえ焼きそば」（右）

新発田市、阿賀野市、胎内市、聖籠町の、
自慢のグルメを紹介。

阿賀北ふるさとグルメフェスタ会場の月岡温泉の月姫広場。足湯にも大勢の人がいました。

三　いいねっか村上

10月9日（日）、村上市の三面川中州公園で「いいねっか村上２０１１」が開催され、家族連れなど大勢の人たちで賑わいました。

商工会議所主催のイベントで、会場には地域の飲食店や物産販売店などの出店のほか、ステージでのダンスパフォーマンスや吹奏楽の演奏披露、ちびっこ警察官体験コーナー、セグウェイ試乗体験など楽しめるコーナーが沢山ありました。

秋晴れのとても天気のいい日で、陽のあたるところは少し暖かく、家族連れの人たちは木陰や芝のあるところでご飯を食べていました。

お昼時、出店の前は人、人、人でした。

村上茶の手揉み実演。

ステージで披露されたダンスパフォーマンス。

電動立ち乗り二輪車セグウェイ

秋空の下、家族みんなで舌鼓。

急げ、お客さんが並んでいるよ。

天気のいい秋の一日でした。

ごちそうさまでした。

取材　小池　徹
村山真実

平成23年度

NOSAI女性セミナー開催

若さを保つ 食と健康のレシピ

―家族の健康、私の元気―

にいがた製菓・調理師専門学校えぷろん
学園長 **渡辺弘子**（わたなべひろこ） 様

技能オリンピック金メダル受賞者をはじめ優秀な人材を育成する、にいがた製菓・調理師専門学校えぷろん。この学校の渡辺学園長から、若さを保つ食の秘訣や元気で健康な生活をおくる食の知恵、食を通した子どもたちへの教えなど、講演していただきます。

会場日程

定　員　１会場100名

開催日時と会場
本所管内……平成23年11月26日（土）開場 9:30　開演10:00　サン・ワークしばた
阿賀北管内……平成23年11月26日（土）開場13:00　開演13:30　阿賀北NOSAIセンター
岩船管内……平成23年12月 3日（土）開場 9:30　開演10:00　神林農村環境改善センター

申 込 み
申込方法……電話申込みとなります。申込みの際は「氏名」「住所」「電話番号」を教えてください。
申込期間……11月7日（月）から11月18日（金）まで

申込み先
NOSAI下越本所　0254-33-3901
阿賀北NOSAIセンター　0250-63-9090
岩船NOSAIセンター　0254-56-6133

お 願 い　参加は無料ですが、自宅にある未使用のタオルを持ってきてください。いただいたタオルを、社会福祉施設等に寄付いたします。

会場案内図

本　所

阿賀北

岩　船

さんぽの時間

Taking a walk

～第22回～　スポーツの秋

今回はスポーツをテーマに、新発田地区、豊栄地区、京ヶ瀬地区の運動施設を訪ねてきました。

稲刈りが終わり、農作業がひと段落した秋。天高く馬肥ゆる秋であり読書の秋でもありますが、からりとした晴れの日が多いスポーツの秋でもあります。

昭和39年10月10日、東京オリンピックの開会式が行われた事を記念して、体育の日が制定され祝日となりました。今は10月第2月曜日が体育の日となっていますが、昭和41年から平成11年までは10月10日が体育の日でした。

国民の祝日に関する法律では、体育の日とは、「スポーツにしたしみ、健康な心身をつちかう」と定められています。現在は、健康推進という事もあり、子どもからお年寄りまで多くの人がスポーツを楽しんでいます。スポーツ用品店には色々な品物が置いてあり、多様なスポーツの広がりを実感します。

五十公野公園陸上競技場（新発田）

五十公野公園陸上競技場は城下町新発田がイメージされるお城の雰囲気がある競技場で、石垣に城門、櫓などがデザインされています。

トラックは全天候型の400m9レーンで、フィールドは天然芝でサッカーやラグビーの試合が出来ます。

五十公野陸上競技場、城門をデザインしたマラソンゲート。

遊水館（豊栄）

福島潟にある水の公園遊水館は、リフレッシュ&リラクゼーションを目的としたプール施設です。

ウォータースライダーや幼児用プールがあり、家族連れで楽しめる施設です。

京ヶ瀬屋内運動場（京ヶ瀬）

阿賀野市京ヶ瀬支所の近く、ふるさと公園内にあり図書館に隣接する京ヶ瀬屋内運動場。

全面に人工芝を張ってある全天候型の運動場で、フットサルやゲートボール、テニスなど、幅広い年齢層が利用できる施設です。

（取材者：小池　徹）

福島潟付近にある遊水館。ウォータースライダーがあります。

全面人工芝の屋内運動場。フットサルもできます。

お見せします!

趣味特技

阿賀野市（安田地区）宮町

笠原（かさはら） 基（もとい） さん（71）

「鎧や刀の収集」（武具の収集）

笠原さんが鎧や刀などの武具に興味を持ち、収集を始めたのは35年ほど前からだそうです。きっかけは友人の影響もありましたが、笠原さんの曽祖父が骨董品を集めるのが好きで、家には珍しいものがたくさんあり小さいころからそういう環境にあったので、自然と興味を持つようになっていたそうです。

もともと歴史が好きで全国のお城や古戦場を訪れたり、時代劇を観るのも趣味だという笠原さんは、武具の魅力にとり憑かれました。

「常に鎧一体は飾ってあり、もう一体は大事にしまってあります。飾るときは二人掛かりで、紐の縛り方ひとつにも手間がかかり、バランスや角度などで印象が変わるので、うまく飾れるまで半日はかかってしまいます」とのことです。

飾られている大砲の弾は戊辰戦争の頃のもので、「官軍がこの近くを通ったときに落としていったものだと、聞いています」ほかにも日露戦争で使われた銃なども見せていただきました。

これらの品について笠原さんは、「人を引き付ける魅力と、歴史の重さやロマンを感じます。刀を見ると身が引き締まる気がします」そして、「これからも歴史のことを調べたり、集めたものを大事にしていきたいです」と、話してくれました。

（田澤　康一）

笠原さんと鎧兜

手前に写っているのが、戊辰戦争の時に官軍が落としていったといわれている大砲の弾

NOSAI下越女性組織 すずらん会

視察研修

㈲フジタファーム

NOSAI下越女性組織すずらん会は、8月25日、新潟市西蒲区、岩室温泉近くの㈲フジタファーム（代表＝藤田毅）へ視察研修に行ってきました。フジタファームは水稲生産法人やジェラート店などと連携した経営を行っていますす。

藤田さんの家は昭和28年から酪農を行っていましたが、平成3年に法人化し、有限会社フジタファームを設立しました。大規模化を考えていましたが、アメリカに視察に行った際、規模の違いを見て大規模化することを止めたそうです。

平成7年に農家3戸で水稲受託組織を立ち上げ、平成10年に㈲米工房いわむろという法人に発展させ、米の直接販売を開始しました。フジタファームと米工房いわむろは、乳牛への稲ワラ供給や水田への堆肥の投入など、耕畜連携による相乗的なメリットを共有しています。

生産される米は全て直接販売をしており、購入者からのクレームは経営のヒントとなるので大切とのことです。

平成14年には、奥さんを代表にジェラート店の㈲レガーロを設立しました。年間の来場者数は17万人を超え、客足の途絶える日はないという人気の店となっています。

現在はチーズの製造販売やピザ作り体験なども行っており、これからも3法人の連携をますます深め、販路拡大を目指しています。

研修当日も小学生のピザ体験が予約されていたり、ジェラート店に大勢のお客様が来ていたりと賑わっていました。

講師をしていただいた藤田代表

藤田代表を囲むすずらん会会員

園芸施設共済

「備えあれば憂いなし」是非ご加入を

災害に備えましょう。

大雪や竜巻など、思いがけない災害が発生し、園芸施設に被害をもたらします。これからの季節、西高東低の寒気をともなう強風など、災害が多くなる時期を迎えます。

そこで、そうした災害に備えるため、NOSAIの園芸施設共済（ハウス）共済の加入をお勧めいたします。加入額や掛金などお気軽にお問い合わせください。

被害が発生したらすぐにご連絡ください。

すでにご加入いただいているハウスにつきましては、損害が生じたとき、すみやかにご連絡くださいますようにお願いいたします。

また、作物の栽培上、緊急に修復が必要な場合は、損害箇所の写真が必要ですので、必ず写真を撮っておいてください。

家畜共済

家畜検診車は牛版人間ドック 定期健診をお勧めします

家畜検診車は乳用牛の
①疾病が多発している
②生産性が思うように伸びない
③繁殖成績が悪い
④現状（飼養管理・健康チェック）の確認をしたい

など、事故防止や生産効率を高めるために支援を行っています。

検診料は1頭につき千円（上限は1回2万円）。そのうち1／2を限度として組合が補助しています。また、検診後のフォローアップも行っていますので、ぜひ年1～2回の定期健診をお勧めします。

なお、家畜検診車のお申込みは、本所または最寄りのセンターの家畜担当者までお願いします。

任意共済

事故、異動の連絡をください

ご加入いただいている建物の火災や落雷、農機具の接触や衝突などの事故が発生した場合や、入替等があった場合は、損害評価や加入物件の異動処理をいたしますので、速やかに組合へご連絡ください。

連絡先

本　所
任意共済係　0254-33-3901

阿賀北NOSAIセンター
任意共済係　0250-63-9090

岩船NOSAIセンター
任意共済係　0254-56-6133

アルバム拝見 20

私のハタチのころ

連載80 when I was twenty years old...

～農業を楽しむ～

須貝（すがい） 久子（ひさこ）さん（66）
新発田市大野（加治川地区）
（昭和20年生まれ）

青年団の研修会
（前列右2番目）

全国農村青年技術
交換会秋田大会（右）

若者が多く活気ありました

私の実家は中俵という集落で、農家でした。中学生の頃、母親が事故で突然亡くなってしまいました。兄姉達と一緒に農業を手伝いましたが、私自身、その頃から農業は嫌いではありませんでした。

中学校を卒業すると、定時制の高校に進学しました。学校に通いながら地域の青年団や４Ｈクラブにも加わっていました。バレーボールや研修会、全国農村青少年技術交換会秋田大会など様々な行事に参加し、同年代の人たちと楽しく交流をしました。当時は若い人が多く、集落でも地域でも活気がありました。

災害が続いた昭和40年前後

昭和39年６月、学校の昼休み時間に新潟地震に遭遇しました。激しい揺れで土壁だった教室の壁が崩れ落ち、とても怖い思いをしました。家に帰ると道や田んぼに地割れが出来ていました。

昭和41年７月、桜並木で有名だった加治川の堤防が大雨のため破堤し、水害が発生しました。中俵は加治川から離れた集落ですが、低いところのため水が押し寄せ、家の１階部分が水に浸かってしまいました。幸い水が来るという情報が届いていたので、ある程度の道具を持って２階へ避難していました。しばらくすると温かいおにぎりが出てきました。どうやって道具が用意されたのか覚えていませんが、火の気のない２階でご飯が炊けたことに少し驚きました。屋根に避難していた隣の家の人に、姉が竹竿の先におにぎりをつけ、渡したのは覚えています。そのうち、自衛隊の人がボートで救出にきてくれて、避難生活を10日間経験しました。

翌42年８月にも水害が発生しました。この年は結婚していたので嫁ぎ先での水害でしたが、新発田病院に入院していたため水害には直接遭いませんでした。

水害前の加治川堤防で妹と（左）

農業と趣味と

夫の家も農家で、はじめの頃は専業で農業をしていました。しかし、水害の復旧協力で土木工事に出た事をきっかけに、夫も私も勤めながら農業をするようになりました。

数年前、勤めをやめたのを期に、農業を専門で出来るようになりました。現在は集落営農で稲作をし、借りた大型ハウスで枝豆やなす、オータムポエムなどを栽培し、夫と一緒に農業を楽しんでいます。

また、農業だけでなく、お茶や山登りなどの趣味を楽しんでいるほか、15年前から始めたウォーキングも続けています。これからも健康で元気に過ごしていきたいと思っています。

（取材：奥山　遠志）

のーさいえんす NOSAIENCE

今回のテーマは、**「爆発卵（俗称）」**です。

「電子レンジでゆで卵を作ろうとしたら爆発しちゃった」

「爆発？」

「お母さんに叱られたよ」

「怖っ…」

電子レンジで卵を温めないで

電子レンジは、２４５０ＭＨｚという周波数の電波を放出して、食品に含まれる水分子を振動させることで熱をもたせ、食品を温めます。食品の内部も外部も一様に加熱することが出来るので、電子レンジは加熱時間が短いという特徴があります。

加熱された食品は内部で水蒸気が発生します。卵のような殻や膜で密閉されている食品は、水蒸気の逃げ場がないため加熱しすぎると内部が高温となって圧力が高まり破裂してしまいます。卵は黄身が膜で覆われているので、ゆで卵を電子レンジで加熱する場合も同様に破裂する恐れがあります。（これからおでんの季節ですが、おでんを温めるとき、ゆで卵が入っていたら要注意です）

また、加熱中に何も起こらず、ゆで卵を取り出せたとしても、箸を刺すなどショックを与えるとそれをきっかけに破裂する場合があり危険です。（破裂した卵は高温なので火傷や怪我の危険があります）

卵以外でも、たらこやイカ、ソーセージなど膜で覆われているものも破裂の恐れがあるので注意しましょう。

液体を温めるときも注意

電子レンジで水やコーヒーなどの液体を加熱する場合も注意が必要です。液体は沸点に達すると内部から水蒸気が出て沸騰状態となりますが、稀に沸点に達しても沸騰しない過熱（かねつ）という状態になる場合があります。この状態のとき、何かしらのショックがあると急激に沸騰を起こす突沸（とっぷつ）という現象が起こります。

電子レンジは均等に急激に加熱するため、ガスコンロなどより突沸が発生しやすいといわれています。電子レンジの中で発生する場合もありますが、何事もなく取り出したあと、コーヒーなどの粉末を入れた途端、突沸が発生する場合もあります。（高温の液体が飛び散るためとても危険です。）

加熱しすぎて熱くなってしまったら、少し冷ましてから取り扱いましょう。

「何でもチンしていいわけじゃないんだね」

「取扱説明書も読んでね」

第36回「新・日本の農村」写真コンテスト作品募集

ＮＯＳＡＩでは、農業・農村・農業者を題材とした作品を広く募集しています。

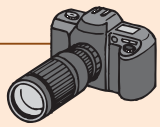
農業のすばらしさを自由に表現して、ご応募ください。

第35回「新・日本の農村」写真コンテスト
最優秀賞に輝いた秋田県の五十嵐清光さんの作品。
「春の訪れ」（4枚組）

✂ きりとり線

第36回「新・日本の農村」写真コンテスト応募用紙	
画題	
住所	
氏名	
電話番号	
撮影年月日	
撮影地・絞り・フィルム・シャッター	

応募要領は次のとおりです



【応募締切日】　2012年2月29日（当日消印有効）

【応募先】　〒102-8411　東京都千代田区一番町19番地
ＮＯＳＡＩ全国「写真コンテスト係」宛　☎03-3263-6413

【写真サイズ】　キャビネ版（13㌢×18㌢）以上。白黒、カラーいずれも可。デジタルカメラの場合も同様です。

【応募点数】　制限無し。ただし、組み写真は１点６枚以内。

【入賞発表】　農業共済新聞に掲載します。

【表彰】　最優秀賞、金賞、銀賞、銅賞には賞金と盾を、佳作には記念品を進呈します。

【応募の注意事項】　作品は未発表のもので、今年撮影した作品に限ります。
応募用紙に画題、住所、氏名などを記入のうえ、作品裏面に貼り付けてください。応募作品は返却しません。

※申込み時にご記入いただきました個人情報については、表彰の連絡並びに賞金の発送に関する業務に利用し、他の目的に利用することはありません。また、情報が外部に漏れることのないよう大切に保管します。

もえぎの華
MOEGI NO HANA

Q. 趣味は何ですか？
音楽鑑賞と買い物です。
気分転換になる、私の大切な趣味です♪
Q. 好きな食べ物は？
ソフトクリームです。毎日食べてもOKです!!
あともう一つは、お肉!!　肉食女です♪
Q. 旅行に行くとしたら、どこへ？
韓国!!!!!
海外のいろんな所に行きたいけど、
今1番行きたい所は大好きな韓国です♪

かわむら　ともみ
川村 友美さん(22)
村上市(村上地区)

よちよちランド
YOCHIYOCHI RANDO

Q. 好きな遊びは？
車で遊んだり、
農機具など働く車を見ること。
“いないないばー” と顔を出すことや
散歩することです。
Q. 好きな食べ物は？
納豆ごはん、果物、とうもろこし、
トマトとレーズン
Q. ご両親から一言
元気ですくすく大きくなってね。
やりがいのあることを
見つけてください。

～阿部 孝弘さん・敬子さんの長男～

あべ　ひろき
阿部　広暉くん（1歳4ヶ月）
聖籠町

本　所
TEL/(0254)33-3901　FAX/(0254)33-3293
■休日連絡先（午前６時から午後６時まで）080-1070-9226

阿賀北 NOSAI センター
TEL/(0250)63-9090　FAX/(0250)63-8979
■休日連絡先（午前６時から午後６時まで）080-1077-8025

岩船 NOSAI センター
TEL/(0254)56-6133　FAX/(0254)56-6202
■休日連絡先（午前６時から午後６時まで）080-1074-3354

【編集後記】

小池　徹

さんま、さんま、さんま苦いか塩っぱいか…、作家、佐藤春夫さんの「秋刀魚の歌」の一節です。秋、旬のさんまを食べるとき、なぜかこの一節が浮かんできます。

流通、小売の発達で、食で季節を感じにくくなっていますが、酒の肴には季節を感じるものを選びたいと思います。これからの季節は、おでんなど…

編集・発行：下越農業共済組合
〒959-2415 新潟県新発田市住田 544 番地
印　　刷：島津印刷㈱

http://www.nosai-kts.or.jp
NOSAI 下越 検索

次回の発行は12月下旬です。

VEGETABLE OIL INK